

台湾企業との合併で中国進出

株式会社松村石油研究所



無錫徳松科技全景

優れた技術開発力

株式会社松村石油研究所は1958年に松村石油株式会社から分離独立、特殊石油製品分野での技術開発力には定評がある。58年に国産初の高真空ポンプ油の商品化に成功、61年硫酸洗浄装置による流動パラフィン化粧基剤向けに生産、62年鉄鋼メーカー向け水グリコール型難燃性作動液を開発、66年流動パラフィン、石油スルホネートの生産の為千葉工場を建設、73年耐熱・耐酸性合成高真空ポンプ油の開発など自主開発を積極的に進めトップメーカーに成長、03年ジャスダック上場を果たした。

同社製品は接着剤や潤滑油のほか、各種添加剤、耐放射線用潤滑油及びハードディスク用表面潤滑剤等に及び、ユーザーの業種も自動車、半導体等電子部品、家電製品、トイレタリーグッズ製造業など実に広範に亘っている。

着実に広げる海外戦略と中国進出

当社は世界各国向け製品輸出のほか、95年にはタイに現地法人【MORESCO (Thailand) Co. Ltd.】を設立、潤滑油等の地場自動車産業向け販売から周辺アセアン諸国向け輸出へと業容を広げた。

98年には台湾の最大手EVA系接着剤メーカー「徳源企業」とホットメルト接着剤のライセンス生産を開始、01年には、中国江蘇省無錫市に合併会社【無錫徳松科技有限公司】を設立し、中国へ工場移転を進める台湾企業向けに接着剤を供給するほか、自動車産業向けにダイカスト用潤滑剤、難燃性作動液等の製造・販売を行っている。このように取扱商品の輸出入取引のほか、OEMや生産拠点設営など積極的な海外戦略を進めている。

中国で市場性豊かなホットメルト接着剤と特殊潤滑油

合併会社【無錫徳松】で生産するホットメルト接着剤と特殊潤滑油は、性格は異なるが共に将来性に富む製品である。例えば、安全性に富み生産性向上も期待できる食品関係の包装や、今後ますます拡大が期待される製本業界等、日本市場に比べて数倍の市場規模が期待される。また特殊潤滑油も、モーターライゼーションが始まったばかりの中国で着実な需要拡大が見込まれ潜在的成長性が大きい。

中国では「独資形態」の「合併企業」

同社に対する当機構の支援は99年頃に遡り、中国市場での販売方針に関わる相談から、現地法人設立へと進んでいった。

本事業は、中国外資法による投資形態では「独資」に分類される。中国では独資と合併の分類基準は中国企業による出資の有無であり、出資者が複数でも当事者全員が外資であれば独資に分類される。とは言え、中国での分類を別とすれば本事業は日本企業と台湾企業による合併事業であり、各当事者の役割分担、権利と責任を明確にする必要がある。従って、同社への支援内容は、①中国での独資企業設立に関わる会社定款等関係書類作成、その他認可申請諸手続や、②出資者間の国際的な合併契約書作成を軸としながら、③現地法人に対する技術供与契約や秘密保持契約作成、④工場建設関連手続、⑤会社設立後の従業員雇用契約書や就業規則作成等々広範にわたるものだった。

台湾企業との提携メリットを生かして

上記のような事業全体のスキーム作りの他、進出先選定のための現地踏査に協力（現地アドバイス）をした。ユーザー分布や関連産業集積状況から上海周辺の開発区に絞り込まれていた進出先を最終選択するための調査である。

現地踏査は5日間に亘った。上海市及び江蘇省の開発区計10ヶ所、11企業を訪問した。調査は、各開発区の立地条件や運輸交通面の利便性を実際に皮膚感覚で確かめながら、土地代や工場賃賃料、工場建設関連費用や工事業業に関わる情報収集等を行うものである。また従業員

採用や賃金水準など進出後の経営関連情報についてもヒアリングを行った。

同社の海外事業企画部門を率いる谷川友彦常務はタイでの法人設立の経験もあるため、今回の支援は、その中国バージョン作成に協力するとの観点から行なったといえる。

同社は、提携先の台湾企業から、周辺に集積する現地調査設備メーカーに関する情報を得たり、進出後の台湾業者向けの拡販につなげるなど、提携のメリットを随所に生かしている。

中国の自動車産業も活況を呈し、同社の潤滑油の販売も好調で、現地法人は既に単年度黒字化を達成、さらに工場拡大を計画中である。

(経営支援専門員 野中 義晴)

株式会社松村石油研究所	
(日本本社)	
所在地	: 神戸市中央区港島南町
代表者名	: 中野正徳
業種	: 製造業
事業内容	: 特殊潤滑油、ホットメルト接着剤等の開発・製造
商品内容	: 合成潤滑油、ホットメルト接着剤、ダイカスト用潤滑剤、高真空ポンプ油、切削油剤、乳化廃水処理剤、高温用潤滑油
創業年	: 昭和33年(1958年)
従業員数	: 198名
資本金	: 7億4,440万円
年間売上高	: 87億円(2006.2月期)
(海外現地法人)	
企業名	: 無錫徳松科技有限公司
所在国	: 中国
地域	: 江蘇省無錫市
事業内容	: ダイカスト用潤滑剤・難燃性作動液、EVA系ゴム系接着剤の開発・製造・販売
創業年	: 2001年3月
従業員数	: 49名
資本金	: US\$300万
投資形態	: 独資(台湾企業との合併)



潤滑油混合設備



松村石油研究所本社・研究センター

専門員の視点

本事業は、中国での分類上は独資だが、歴とした国際合併である。折半出資の合併で対立すれば何も決まらない。双方の強みを生かす補完関係の構築が成功の鍵である。同社の強みは卓越した技術力であり、台湾パートナーの強みはコスト低減能力と市場開拓能力である。本事業では両者が旨く補完し合い、業容拡大に結び付いている。特に本事業の鍵となるのが同社の技術である。技術ノウハウの管理は、現地法人、台湾パートナー、従業員等に広く関わってくる。たまたま同社の有名ブランドが中国企業により先行登録されて、解決までの一時期、ブランド使用が出来なくなるという予想外の事態に遭遇したが、このこともあり、中国での知的財産権の保全について特に注意を払うこととなった。なお、現地踏査に際し当社が事前に準備した事業計画書説明用のパワーポイントと小冊子は、訪問先での確かなコメントや情報を得る上で大変有効であった。進出後の問題は、同社谷川常務の快活で軽快なフットワークを生かし、独自の現地情報源確保に努めておられ、当機構は他のアジア諸国や欧米向販売など新分野での相談を承っているのが近況である。